



# 白馬高校 国際観光科 専門家のオンライン講義

# 「高校生ホテル」実現へ始動



白馬・小谷版

発行所  
©大系タイムズ社  
長野県大町市俵町1851  
〒398-0002  
TEL0261(22)2110  
FAX0261(22)2111

ホームページ  
<http://www.ohitotimes.co.jp/>  
Eメール(記事)  
hodo1@ohitotimes.co.jp  
Eメール(広告)  
koukoku@ohitotimes.co.jp  
購読料1ヵ月1,750円(税込)  
1部 90円

本紙購読申込所  
藤巻(大町西部) ☎0261-22-1450  
松尾(大町東部) ☎0261-22-0553  
大町 読売 ☎0261-22-4784  
藤巻(常盤) ☎0261-22-2042  
常盤 中日 ☎0261-22-8444  
松川 中日 ☎0261-62-6010  
矢崎(池田) ☎0261-62-2533  
池田 読売 ☎0261-62-2252  
山本(白馬) ☎0261-72-2024  
荻沢(小谷) ☎0261-82-2201  
藤沢(八坂) ☎0263-87-2354  
穂高 信毎 ☎0263-83-7878  
滝沢(豊科) ☎0263-73-3000  
信毎販売豊科 ☎0263-72-6507  
信毎一日市場 ☎0263-77-8787  
鳥羽(明科) ☎0263-62-2312

白馬村の白馬高校(北村桂一校長)の国際観光科1年生34人は、企画から接客までを高校生が運営する「高校生ホテル」の実施を目指し、マーケティングやプラン作りを学んでいる。12日は、東京都のI-T系企業の協力で、オンライン講義を受講。専門家にマーケティングを学んだ。

統計データとワイイー村・小谷村の宿泊施設5軒の宿泊プランを企画し、インターネット上で販売を実践。来年度は選択授業の「観光馬探究プロジェクト」の延長。本年度は白馬ビデオ会議アプリを用いたオンライン講義

II「受講者を中心に、実際に宿泊施設を借りて、高校生によるプラン

の企画と運営を目指す取り組み。専門家からの受講や現場での学び、ICT(情報通信技術)の活用で、マーケティングやプランニングを実践の場で身に付ける。

同日のオンライン授業では顧客分析について、この観光地が顧客にとってどのような価値があるか、どういった層が訪れているのかなどを、仮説を立てて検証することなどを学んだ。

生徒はグループに分かれ、国のさまざまな統計データにアクセスできる地域経済分析システムREASAS(リーサス)を用い、観光客の来場元や目的地、産業構造を分析し、

発表した。今後はスキー場でのリサーチなどのフィールドスタディも行う。

白馬山麓環境施設組合によると、生徒が運営する高校生ホテルの取り組みは静岡県熱海

高校に続いて全国2例目となる。  
新潟県出身の緒方大夜君(16)は「高校生ホテルがきっかけで、また白馬に来てもらえるようなホテルにできたら。プロセスをみんなで見たい」と話した。

